Ⅳ．キャッシュ・フロー計算書

１．資金の期末残高と貸借対照表に記載されている科目の金額との関係

①　現金及び預金勘定	10,536,669,947円
②　現金及び預金勘定のうち定期預金	0円
資金期末残高	10,536,669,947円

２．重要な非資金取引

①　寄附の受入による資産等の取得	4,285,213円
合計	4,285,213円

Ⅴ．行政サービス実施コスト計算書

国からの出向職員に係る引当外退職給付増加見積額は、△2,660,500円であります。

Ⅵ．退職給付引当金

１．退職給付債務に関する事項

区　　分	平成27年３月31日現在
退職給付債務　(A)	13,969,729円
未認識過去勤務債務　(B)	—円
未認識数理計算上の差異(C)	—円
退職給付引当金　(D)＝(A)＋(B)＋(C)	13,969,729円

２．退職給付費用に関する事項

区　　分	平成27年３月31日現在
勤務費用	9,447,901円
利息費用	57,506円
過去勤務債務の費用処理額	—円
数理計算上の差異の費用処理額	—円
運営費交付金で財源措置された費用	362,266,556円
退職給付費用	371,771,963円

３．退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

区　　分	平成27年３月31日現在
割引率	1.2%
退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準
過去勤務債務の償却年数	発生事業年度一括費用処理
数理計算上の差異の処理年数	発生事業年度一括費用処理

Ⅶ．固定資産の減損関係

翌事業年度以降の特定の日以後使用しないと決定した固定資産

（単位：円）

用　　途	病院および研究施設
場　　所	大阪府吹田市
使用をしなくなる日	平成29年度末予定
使用をしないという決定を行った経緯・理由	当センターの老朽化により平成30年度の開棟を目指して、吹田操車場跡地に移転することを決定しております。よって、平成29年度末に使用しなくなると見込んでおります。

種　　類	建　　物	建物附属設備	構　築　物	土　　地
使用をしなくなる日の帳簿価額の見込額	1,528,728,335	685,888,343	21,329,376	6,918,645,555
使用をしなくなる日の回収可能サービス価額（注１）	0	0	0	—
減損額の見込額	1,528,728,335	685,888,343	21,329,376	—

（注１）　建物、建物附属設備および構築物…除却を予定しているため、０円としております。

土地…現時点において売却額を見込むことが困難でありますので、記載しておりません。

Ⅷ．資産除去債務関係

１．資産除去債務の概要

当センターは、所有する医療用器械備品の処分時における放射化物の廃棄費用について資産除去債務を計上しております。

２．資産除去債務の算定方法

資産除去債務の見積もりにあたり、取得時からの使用見込期間を有形固定資産の耐用年数を参考に２～５年と見積もっております。割引率は当該期間を勘案し、使用見込期間に見合う国債の利回りを採用しており、0.256～0.470％となっております。

３．当事業年度における資産除去債務の総額の増減

期首残高	472,453,277円
見積り変更による増加額	0円
時の経過による調整額	1,697,197円
期末残高	474,150,424円

Ⅸ．重要な債務負担行為

当事業年度末までに契約を締結し、翌事業年度以降に支払が発生する重要なものは、以下のとおりです。

（単位：円）

契　約　内　容	契　約　額	翌事業年度以降の支払金額
ビルメンテナンス業務委託契約	863,991,360	863,991,360
医事室等業務委託契約	855,360,000	760,320,000
建物賃貸借契約（看護師宿舎借上）	1,491,682,064	1,306,584,000
建物賃貸借契約（看護師宿舎借上）	1,080,000,000	864,000,000

Ⅹ．重要な後発事象

該当事項はありません。